

光世館長と行く

『三浦文学ゆかりの地一日旅』

旅の案内人 森下辰衛氏の プロフィール

1962年 岡山県生まれ。1990年 山口大学大学院人文科学研究科修士課程言語文化専攻フランス語学・フランス文学講座 修了

1999年 福岡女学院大学人間関係学部助教授
「日本文学」「キリスト教文学」などを担当。

2001年～ 九州各地で三浦綾子読書会を主宰。

2007年4月 旭川に転居し三浦綾子研究に専念。

現在は三浦綾子記念文学館の特別研究員として毎月三浦綾子文学講座を担当、人気を博している。



■ 紅葉を見ながらグルメと知的感動の旅を ■

デビュー作『氷点』以降、堰を切ったように三浦綾子の精力的な執筆活動は続き『塩狩峠』『道ありき』『泥流地帯』『母』『銃口』など多くの名作を世に輩出しました。

その多くが北海道を舞台としており特に終生居住した旭川の地は『氷点』『続氷点』『積木の箱』『塩狩峠』『果て遠き丘』『青い棘』『銃口』などの舞台となっています。

今回は、口述筆記で三浦綾子の創作活動を支えた三浦光世館長とともに旭川を中心とする三浦文学の舞台を車内講演会、光世館長との記念写真、

紅葉の名勝地見学、北海道の味グルメの堪能など盛りだくさんのメニューを交えながらまる一日かけて巡ります。

当日は三浦文学研究の第一人者であり当館の特別研究員 森下辰衛氏が同行し作品誕生の背景やエピソードを興味深く語ります。

《お知らせ》

光世館長と行く旅は、今回限りの企画です。大切な思い出をつくるためにもぜひご参加下さい。

・・・切り取り線・・

9月7日 一日旅 参加申込書

お名前			参加費：4,500円 ※ 参加費は当日申し受けます
ご住所	〒		記入年月日： 2010年 月 日
お電話番号	() -		〈 有料オプション 〉 レを付けて下さい 黒岳ロープウェイを利用 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない

送付先：〒070-8007 旭川市神楽7条8丁目2-15 三浦綾子記念文学館 TEL：0166-69-2626 FAX：69-2611

※郵送またはFAXにてお申し込み下さい。定員（40名）になり次第〆切ります。（先着順）

塩狩峠



塩狩峠駅にて



旧宅の前で



黒岳ロープウェイ。
ここで移動展が開催されています。

『塩狩峠』と層雲峡を巡るコース

実施日 : 9月7日(火) (催行は20名様以上から)

※雨天決行

※催行の有無は8月20日までにご連絡します。

料金 : お一人様 4,500円 (当日、受付にて申し受けます)

プレゼント① : 記念写真 1枚

プレゼント② : 綾子さんの特別写真 2枚

バスの中ではクイズや歌など楽しい企画が盛りだくさん!

JR 旭川駅 (エスタ前)	8:45	集合・受付開始
	9:00	出発
旭川六条教会	9:10	礼拝堂見学 三浦夫妻が通った旭川六条教会を訪れ、礼拝堂を見学します。
塩狩峠記念館	10:45	見学 【記念写真撮影】 塩狩峠に復元された旧宅「三浦商店」塩狩峠記念館を訪れます。この「三浦商店」の二階で名作『氷点』は生まれました。
上川町	12:00	お昼は「日本一のラーメンの町」「上川町」で舌鼓。
層雲峡	13:30	層雲峡で「移動展」見学 道内でも屈指の景勝地「層雲峡」まで足を伸ばし、開催中の『三浦綾子記念文学館移動展「綾子の青春時代」「綾子の療養時代」「三浦綾子の創作活動」』を見学します。 ■ロープウェイで黒岳展望台へ(約1時間) 有料OP 特別料金 1000円(通常1850円) ご希望のお客様を特別料金で雄大な大雪山系を一望できる黒岳の山頂へロープウェイでご案内します。 約1時間の天空の旅をお楽しみ下さい。 ■銀河・流星の滝へご案内 無料オプション 層雲峡を代表する銀河・流星の壮麗な二つの滝をご覧ください。
三浦綾子記念文学館	16:00	見学 常設展など館内をじっくりと見学。特別展「三浦綾子が描いた多喜二の『母』『セキは、現代(いま)になにを語るか』もご覧ください。光世館長のミニ講演会にも参加します。そのあとはゆっくりお買い物。
JR 旭川駅 (エスタ前)	17:10	解散